

追加オークションのスケジュール変更（再周知）
及び、対象実需給2024年度の
容量確保契約の状況について

2023年3月29日

容量市場の在り方等に関する検討会事務局※

1. はじめに
2. 追加オークションのスケジュール変更について
3. 対象実需給2024年度分の容量確保契約の状況
 - ① 発動指令電源の実効性テストの状況
 - ② 容量確保契約の市場退出の状況
4. 今後の進め方

- 2023年度追加オークション（対象実需給年度:2024年度）について、現在、**募集要綱の公表**を2月1日に行い、**事業者による参加登録**を進めているところ。
- 本日は、国の審議会（制度検討作業部会等）における追加オークションに係る議論状況を踏まえ、**当初スケジュールを一部見直す必要**が生じ、詳細検討を行なったため、**見直しスケジュールについて報告**する。
- また、2020年度メインオークション（対象実需給年度:2024年度）で約定した**容量確保契約の状況**について、4月に予定している需要曲線の原案に反映することを予定しており、**現時点の算定数値について報告**を行う。

2. 追加オークションのスケジュール変更について

①期待容量の登録期間の変更

- 追加オークション（対象実需給年度:2024年度）を開催の準備として、事業者は**開催判断に先立ち**、参加登録（事業者情報の登録、電源等情報の登録、期待容量の登録）を行っていくこととしており、**事業者情報の登録を2月14日より、電源等情報の登録を2月24日より開始**している。
- 現在、国の審議会で検討されている、容量市場の**EUE算定方法の見直し**については、**参加登録に必要な調整係数の値に影響**するため、**「期待容量の登録受付期間」を当初予定（3月22日～4月7日）から変更する旨の案内**を事業者に向けて通知した。
- 参加事業者への具体的な通知内容は以下のとおり。
 - 容量市場へのEUE算定方法見直しについて、国の審議会での議論結果を反映するため、**「調整係数の公表」は2023年4月上旬**となること。
 - それに伴いスケジュール変更後の**「期待容量の登録受付期間」は2023年4月上旬～4月下旬**を想定しており、**別途通知予定**であること。
- 変更案内については、容量市場システムを通じた**登録事業者への通知**の他、**広域機関HPにおいてお知らせも発信**しているところ。（3月10日）
- スケジュール変更後の**「期待容量の登録受付期間」**は、詳細スケジュールが決定次第、別途お知らせすることとしており、本日、期待容量登録以降のスケジュールを含めて、**追加オークション全体の最新のスケジュール（予定）について報告**する。

更新日：2023年3月10日

容量市場 追加オークション (対象実需給年度：2024年度) 参加登録のスケジュール変更について

容量市場 追加オークション (対象実需給年度：2024年度) を開催する場合の準備として、以下のスケジュールで参加登録 (事業者情報の登録、電源等情報の登録、期待容量の登録) を受け付けいたします。

容量市場 追加オークション募集要綱 (対象実需給年度：2024年度)、容量市場業務マニュアル (追加オークションの参加登録編)、容量市場システム利用規約、容量市場システムマニュアルなどを参照の上、容量市場システムにてお手続き願います。

なお、追加オークション (対象実需給年度：2024年度) の開催有無については別途お知らせいたします。

※スケジュール変更がございますので以下赤字箇所をご確認ください (2023年3月10日更新)

スケジュール

(1) 2023年2月14日 (火) ~2023年2月20日 (月) 事業者情報の登録受付期間

(2) 2023年2月24日 (金) ~2023年3月 9日 (木) 電源等情報の登録受付期間

(3) ~~2023年3月22日 (水) ~2023年4月 7日 (金)~~ 期待容量の登録受付期間

→容量市場へのEUE算定方法見直しについて、国の審議会での議論結果を反映するため、上記「期待容量の登録受付期間」のスケジュールを変更いたします。スケジュール変更後の「期待容量の登録受付期間」は2023年4月上旬~4月下旬を想定しておりますが、詳細のスケジュールが決定次第、別途お知らせいたします。

※：不測の事態が生じた場合は、スケジュールが変更となる可能性があります。

※：スケジュールが変更となる場合は、電力広域的運営推進機関HPや容量市場システムにてお知らせいたします。

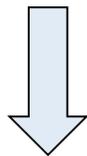
- 既に実需給年度のメインオークションで登録いただいている事業者情報・電源等情報・期待容量について変更がない場合、新たに登録手続きを行う必要はありません。登録済の事業者情報・電源等情報について内容確認の上、必要に応じて修正してください。(修正を行う場合は、上記「登録受付期間」内に行ってください。)
- 発動指令電源が調達オークションに参加する場合は、実効性テストを受け、期待容量が確定しているため、期待容量の登録を行う必要はありません。
- 2023年2月末頃 (予定) に調整係数の公表を行います。期待容量等算定諸元一覧 (安定電源(純揚水)および変動電源) を利用する電源が調達オークションに参加する場合は、調整係数を更新した期待容量の再登録が必要となります。調達オークションに参加しない場合は、期待容量の再登録は不要です。
→容量市場へのEUE算定方法見直しについて、国の審議会での議論結果を反映するため、上記「調整係数の公表」のスケジュールを変更いたします。スケジュール変更後の「調整係数の公表」は2023年4月上旬を想定しておりますが、詳細のスケジュールが決定次第、別途お知らせいたします。
また、「期待容量等算定諸元一覧 (安定電源(純揚水)および変動電源を含む全ての帳票)」のHP掲載についても同様に、詳細のスケジュールが決定次第、別途お知らせいたします。

2. 追加オークションのスケジュール変更について

②期待容量の登録期間以降のスケジュール

- 追加オークションの期待容量の登録期間の変更にともない、**期待容量の登録以降のオークションの全体のスケジュール**についても、**3週間程度の後ろ倒し**を想定している。
- 具体的には、調整係数の算定については、2023年度供給計画とりまとめの数値について、3月22日の**調整力及び需給バランス評価等に関する委員会**で示された案をもとに、追加オークションの**期待容量登録に用いる調整係数として算定**することとし、**調整係数の公表を4月11日に予定**している。
- 一方、他市場への影響があるため、約定結果の公表時期は大きくずらすことができないことや、事業者の準備期間の確保についても考慮する必要がある。
- ついては、期待容量の登録について、**調整係数を用いない電源は4月4日より開始し、調整係数を用いる電源は4月12日より開始**することとして、**登録および審査にかかる期間を分散**する。
- このあと、追加オークションの**応札の受付期間**については、当初予定の5月11日～23日から、**6月1日～13日へ変更し、オークション約定結果の公表時期を7月下旬頃**に予定する。

<当初スケジュール> ▲調整係数（2月末頃）



参加登録：2～4月
(事業者情報、電源等情報、期待容量)

応札
(5月中旬)

約定結果
(6月末頃)

<変更後のスケジュール>

▲調整係数（4月）

参加登録：2～3月
(事業者情報、電源等情報)

参加登録：4月
(期待容量)

応札
(6月上旬)

約定結果
(7月下旬頃)

2. 追加オークションのスケジュール変更について

③追加オークション全体のスケジュール予定一覧

- 変更後のスケジュールは、期待容量登録が開始可能な電源から行うことにより、登録準備の期間短縮を図りつつ、参加登録を進める事業者に対して、市場管理者からも対応をしっかりと行っていきたい。

概要	当初スケジュール	スケジュール変更後
事業者情報の登録受付～ 電源等情報の審査	2月14日(火)～3月16日(木)	期間終了(変更なし)
調整係数の公表	2月末頃(予定)	4月11日(火) 予定
期待容量の登録受付	3月22日(水)～4月7日(金)	①安定電源(純揚水除く)が対象 4月4日(火)～4月20日(木) ②安定電源(純揚水のみ)・変動電源が対象 4月12日(水)～4月28日(金)
期待容量の審査	3月22日(水)～4月18日(火)	～5月16日(火)
追加オークションの開催判断および 需要曲線の公表	4月26日(水)	4月26日(水) 頃
参加資格通知書の通知	5月9日(火)	5月30日(火)
応札の受付	5月11日(木)～5月23日(火)	6月1日(木)～6月13日(火)
応札容量算定に用いた期待容 量等算定諸元一覧登録受付	5月24日(水)～5月30日(火)	6月14日(水)～6月20日(火)
約定結果の公表期日	6月末頃(予定)	7月下旬頃

容量市場における必要供給力の見直し

- 2022年3月の電力需給ひっ迫を受けて、広域機関を中心に、供給信頼度評価に織り込む厳気象対応等について、見直しを進めてきた。その結果、必要な供給力は、これまでに比べて一定程度 (H3需要の3~4%^{*1}) 増加することが見込まれている。
- こうした必要調達量の増加分について、①実需給 1年前に開催するかどうか判断する2024年度分の追加オークションと、②実需給 4年前に行う2027年度分のメインオークションに、どのように反映するか。
- 必要な供給力を確保し、国民生活及び経済活動に欠かせない電力の安定供給をより万全なものとする観点からは、各オークションにおいて、増加分を確実に反映することが求められる。
- 他方、必要な供給力等の確保策としては、別途検討中の予備電源の仕組みのほか、これまで一般送配電事業者が実施してきたkW公募や、電気事業法に基づき広域機関が実施する電源入札があり、これらの仕組みとの関係も踏まえる必要がある。
- また、必要調達量の増加による需要家の負担については、供給力の確保が卸市場価格の安定化に寄与する点も踏まえて総合的に考慮する必要があり、安定供給の確保を大前提としつつも、徒な費用負担の増加は避ける必要がある。
- こうした点を踏まえ、供給信頼度評価の見直し結果の反映については、**供給力確保策全体の在り方や、各仕組みにおける費用負担・回収の在り方等に関する今後の電ガ小委等における議論を踏まえつつ、検討していくこととしてはどうか。**

*1: 第81回調整力及び需給バランス評価等に関する委員会(2023年1月24日)において提示された、供給信頼度における検討事項のうち、稀頻度リスク分、厳気象対応分の織り込み方を見直したことによる影響分

今後の供給力の確保について

- 近年、電力自由化の進展や脱炭素化の流れを背景に、火力発電の稼働率が低下し、採算性の悪化により休廃止が増加。その結果、電力需給が構造的に厳しくなっており、供給力の確保が一層重要となっている。
- こうした中で、2021年度冬季以降、需給検証結果を踏まえた緊急の供給力確保策として、kW公募を行ってきた。
- 2024年度からは、容量市場の運用が開始され、今後、必要となる供給力は、基本的に容量市場を通じて確保されることとなる^(注)。
※脱炭素電源への投資を促進するため、容量市場におけるオークションの1つとして、長期脱炭素電源オークションの詳細制度検討が進められている。
- 一方で、容量市場でカバーしていない大規模災害のリスク等を念頭に、一定の休止電源を維持する予備電源の仕組みについて、本小委員会の下での制度検討作業部会(TF)において検討が進められている。
- また、2022年3月の電力需給ひっ迫を受けて、電力広域的運営推進機関を中心に、供給信頼度評価に織り込む厳気象対応等について見直しを進めてきた。その結果、必要な供給力は、これまでに比べて一定程度増加することが見込まれている。
- こうした状況変化を踏まえ、今後の供給力確保の在り方について、どのように考えるか。例えば、短期的な供給力確保策や、容量市場と他の仕組みとの役割分担、更には、それぞれの仕組みにおける費用負担・回収の在り方について、どのように考えるか。

(注) 沖縄や離島においては、容量市場やJEPX 取引がないことを踏まえ、従来の基準を適用。

3. 対象実需給2024年度分の容量確保契約の状況

- 今後、4月に予定している追加オークションの需要曲線の原案の作成にあたり、**メインオークションの容量確保契約の状況について数値を算定**し、需要曲線の目標調達量の供給力に織り込むこととしている。
- 本日は、追加オークションの需要曲線の目標調達量に反映を行っていく**発動指令電源の実効性テスト結果**（実績提出ベース）や、**市場退出表明書の提出状況**（3月10日時点の表明書提出）に関する報告を行う。

3. 対象実需給2024年度分の容量確保契約の状況

①発動指令電源の実効性テストの状況

- **発動指令電源の実効性テストによる市場退出見込量は、約91万kWの見込みであった。** 今回のテスト実績は夏季・冬季の実効性テスト後に事業者より報告を提出する実績※にもとづいて算定を行っている。
- 発動指令電源は、電源等リストの未提出分が約12万kWあるため、発動指令電源の**メインオークション時の契約容量からの市場退出容量は合計で約102万kW**となった（**メインオークションの約定量から約25%の市場退出**）。
- また、メインオークション時の契約容量をテスト実績で超えた容量は、約29万kWの見込み。

※ 実効性テストの実績報告は3月10日〆で事業者より提出が行われ、提出された内容をもとに実績を市場退出見込量を算定し、4月の需要曲線の原案に対してこの時点の算定数値を反映する。なお、容量確保契約の変更等に関する最終的な実績確定は、4月以降に取得する一般送配電事業者の実績データにより、引き続き、報告内容の確定作業が行われる。

<発動指令電源の実効性テストの反映状況（対象実需給年度：2024年度分）>

単位：万kW

①メインオークション 約定容量	②減少容量		減少を反映した 契約容量（①-②）
415	電源等リスト未提出	▲12	▲102 (約25%)
	実効性テストの未達容量	▲91	
			313

なお、実効性テストにより契約容量を超えた容量は29万kWであった。この部分については、実需給期間に確実に供給力を提供するために現在の契約のリソースとして活用するか、追加オークションに参加するかは事業者の判断となるが、もし追加オークションへ参加して約定した場合には追加的な供給力となる。

実効性テスト（実需給2024年度）の経過について

- 前回の本作業部会では、実効性テストの結果等から発動指令電源の供給力がどの程度見込めるかを把握した上で、募集量を検討する必要がある、といったご意見をいただきました。
- 実効性テストの経過として、2024年度向けの実効性テストのための電源等リストの登録が2月末に締め切られたが、契約容量約415万kW、128契約に対して、約11.5万kW※、21契約※が電源等リストを未提出であることが確認された。
※ 発動指令電源の契約容量に占める割合は2.8%、契約数に占める割合は16.4%
- 電源等リスト未提出の案件については、応札時点で獲得を見込んでいたリソースの失注や事業者間で見込みが重複していたこと、競合結果により既獲得案件を逸したことにより、当該リソースを確保できなかった事業者が未提出となったことが要因として確認されている。また、電源等リストを提出しているものの、契約容量までリソースを確保できていないリストも想定されることから、今後の実効性テストにより結果が判明することに留意が必要となる。
- なお、電源等リストが提出された107契約分については、需要家等のリストが提出された段階であり、リストの不備や事業者間の重複を確認した上で、今後、行われる夏季・冬季の実効性テストで契約容量を満たしているか確認していくこととなる。
- 発動指令電源の応札容量については、実効性テストの前である実態も踏まえながら、次回以降、発動指令電源の募集量等についてご議論いただきたい。

	電源等リストの未提出 による退出容量	電源等リストの 未提出契約数
対象実需給年度:2024年度 (2022年2月の未提出分)	11.6万kW <契約容量計:415万kW>	22契約 <契約数計:128>
対象実需給年度:2025年度 (2023年2月の未提出分)	26.6万kW <契約容量:475万kW>	31契約 <契約数計:165>

3. 対象実需給2024年度分の容量確保契約の状況

②容量確保契約の市場退出の状況

- **安定電源や変動電源**※の市場退出容量は、**約105万kW**（3月10日時点の市場退出表明書ベース）の見込み容量であった。
- また、**発動指令電源の区分**における市場退出容量は、**約102万kW**（事業者報告ベース）の見込み容量であった。
- したがって、実需給2024年度分の市場退出の見込み容量は、**合計で約207万kW**であった。

<市場退出の見込み容量（対象実需給年度：2024年度分）>

単位：万kW

区分	メインオークション時点の契約容量	市場退出見込み容量	市場退出を反映した契約容量	(参考)退出割合
安定電源 変動電源	16,354	▲105	16,250	0.6%
発動指令電源	415	▲102	313	25%
合計	16,769	▲207	16,563	1.2%

※ 変動電源アグリゲートを含む。安定電源と変動電源の市場退出表明書は、需要曲線の原案の作成に算定数値を反映することが必要となるため、3/10迄の提出分を見込み容量とする。

更新日：2022年12月23日

容量市場からの市場退出の表明について（対象実需給年度：2024年度）

容量確保契約約款第13条第1項に記載の通り、「追加オークションの実施判断に必要な容量確保契約の変更または解約の確認期限日」を境に、市場退出時の経済的ペナルティの算定方法が変更となります。

①容量市場システム上での市場退出表明

2023年3月10日(金)までに、容量市場システムにて市場退出の表明を実施してください。

この期日が「追加オークションの実施判断に必要な容量確保契約の変更または解約の確認期限日」となります。

②市場退出表明書の提出

2023年3月31日(金)までに、押印済みの市場退出表明書を提出してください。

市場退出表明書の様式等については、①を実施された事業者様へ、個別に広域機関からご連絡しますので、お早めに

①の手続きをお願いいたします。

それぞれの期日内に①・②の手続きが完了した電源等について、その後、市場退出が認められた場合※に、経済的ペナルティの算定方法として約款第13条第1項第1号が適用されます。

※市場退出の確定は、市場退出表明書の提出後に判断されますのでご注意ください。

詳細は下記に添付の「容量市場からの市場退出の表明について（対象実需給年度：2024年度）」をご参照ください。

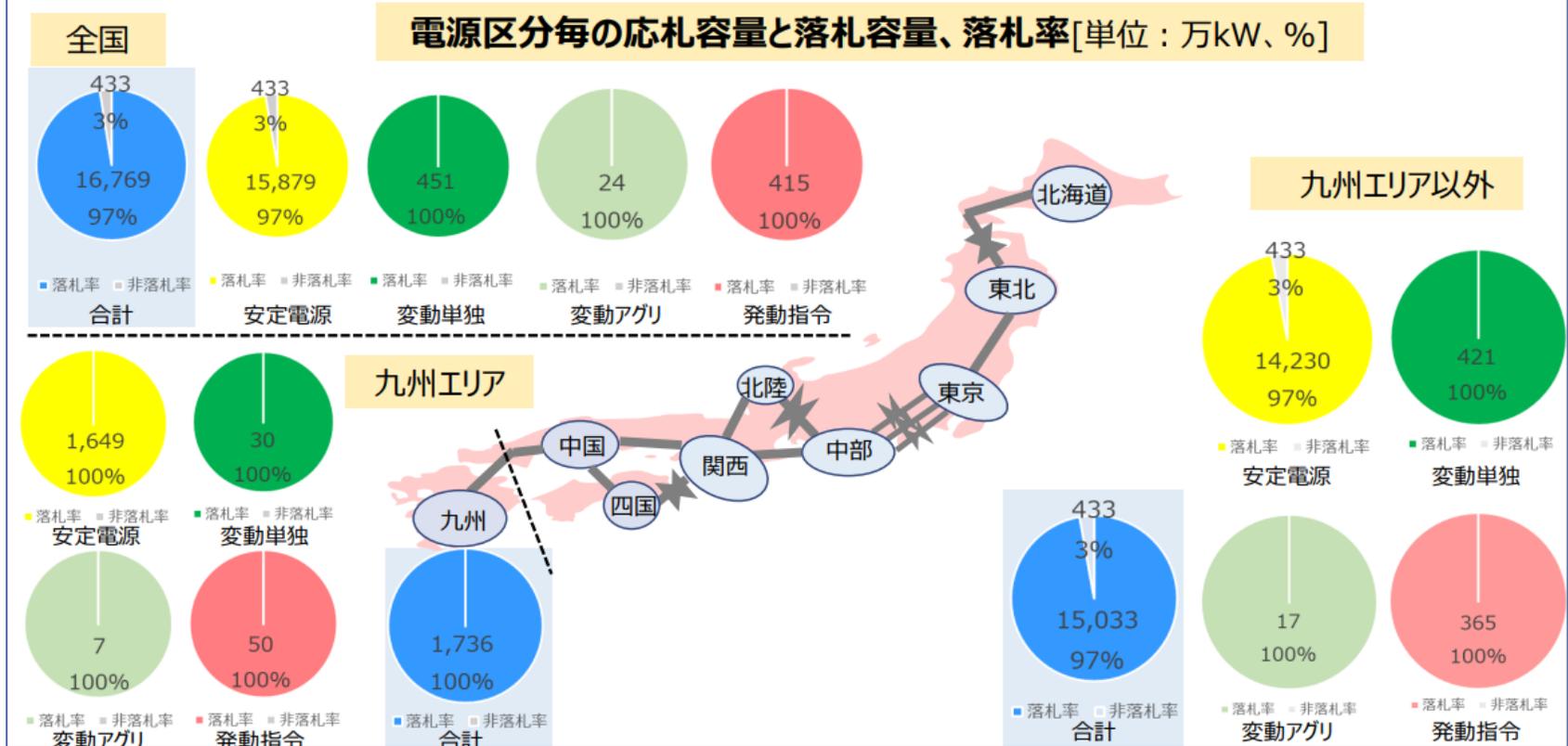
- [容量市場からの市場退出の表明について（対象実需給年度：2024年度）](#)  (1112KB)

3. オークション結果の集計・公表

13

(3) 応札容量と落札容量 (落札率)

- 全国の電源等の区分別の落札率は、安定電源が97%、変動電源 (単独)・変動電源 (アグリゲート)・発動指令電源は、いずれも100%であった。また、全体の落札率は、97%であった。
- なお、九州エリアにおいて非落札電源はなかった。



- 今後の追加オークションの進め方については、**2023年度供給計画のとりまとめを反映しつつ、需要曲線の原案の作成にあたっては4月に行う**ことを予定している。
- 需要曲線の原案は、国の審議会において審議と開催判断が行われ、追加オークションを開催する場合には、**需要曲線の公表を4月下旬に実施**する。
- 需要曲線の原案にあたっては、3月に公表された**2023年度供給計画とりまとめ案にもとづいた需要想定等を反映**※1するとともに、本日報告を行った**市場退出の状況も反映**※2しながら、引き続き作成作業を進めていく。
- 追加オークションのスケジュール変更については、**募集要綱の更新**を含め、容量市場システムを通じた**登録事業者への通知**の他、**広域機関HP**において**お知らせも発信**する。

※1 2023年度供給計画とりまとめ案は、3月22日の調整力及び需給バランス評価等に関する委員会で公表

※2 実効性テストの実績報告は3月10日を期限として事業者より提出が行われ、市場退出表明書については3月10日を期日としてペナルティの扱いが変わるため、この時点の情報をもとに需要曲線の原案の算定に用いることとする。

第44回容量市場
の在り方等に関する
検討会資料より

5. 期待される供給力について

② メインオークションで調達した供給力

- 前頁のFIT電源等の期待容量の設定値に、メインオークションの調達容量を加えると、現時点で**期待される供給力**※は**18,137万kW**となる。
※事後的に織り込む供給力（石炭混焼バイオ）を除く
- 今後、需要曲線の原案作成時（4月）においては、**市場退出や発動指令電源の実効性テスト結果を反映**する

